

謎の書籍X 展示本リスト

	所属	推薦者	所属	書名	著者名	推薦文
1	教員	小林 晋平	自然科学系 物理科学分野	英語達人列伝：あっぱれ、日本人の英語	斎藤兆史	皆さんは「あなたの英語力次第でこの国の行く末が決まります」と言われたらどうするだろうか？明治から終戦直後の激動の時代、自らの双肩に日本の行く末がかかっているという覚悟で英語を学んだサムライたちがいた！今とは異なる厳しい学習環境をもとめせずに研鑽を積み、その英語力で国際社会と渡り合った英語達人たち。こんな先達がいたことを心から誇りに思うとともに、自分の学びを問い直し、襟を正さずにはられない。
2	教員	小林 晋平	自然科学系 物理科学分野	ダンゴムシに心はあるのか：新しい心の科学	森山徹	「心」とは、大脳を持つ生物だけに存在するものだろうか？著者は動物行動学を専門とする生物学者として、ダンゴムシの生態に着目する。迷路に閉じ込めたり、触覚にストローをつけたり、2匹のダンゴムシのお尻を糸でつないで自由に動けなくしたり…。そうした「無茶ぶり」をしたとき、ダンゴムシが取った行動とは？本書に登場する数多くの実験結果を見るたびに、「ダンゴムシ、心あるよ！」と思わず叫んでしまうだろう。
3	教員	田嶋 大樹	教育インキュベーション推進機構	遊びの社会学	井上 俊	45年以上前の書籍にもかかわらず、今読んでも新しさを感じられる、「遊び論」の名著です。
4	教員	田嶋 大樹	教育インキュベーション推進機構	子どもと悪の人間学	亀山 佳明	「悪いことはしちゃだめだよ。」教育の場面ではこんな言葉がよく使われますが、この本を読んだら、その言葉の受け止め方が少し変わるかもしれません。
5	教員	大森直樹	現職教員支援センター機構	子どもとつながること：上ちゃんの保健室日記	上田孝江著/東京学芸大学教育実践アーカイブズプロジェクト編	子どものつぶやきから何を学ぶのか。400字の教育実践記録を多く公表してきた広島市の保健室の上田孝江先生の書籍です。
6	教員	大森直樹	現職教員支援センター機構	教育実践アーカイブズ 第6号 3・11後の子育て		千葉県で子育てをしていた木本さゆりさんは、2011年3月の原発事故後に、関東の子どもの健康を守るために行動を始めます。木本さんは、なぜすべての子どもを助けたいと思ったのか。東京学芸大学で行われた講演の記録です。
7	教員	腰越 滋	総合教育科学系・教育学講座	『歴史と理論からの社会学入門』,2022年,ナカニシヤ出版(ISBN:978-4-779-51634-4 ¥2600E)	木村 至聖 著	講義用テキストで採用してみたところ、啓蒙性に富み、口語調で書かれており読みやすい。それにも拘わらず、社会学を理論と歴史の両面から解説してくれていて、気鋭の著者の博覧強記が窺われる好著と思料される。
8	教員	腰越 滋	総合教育科学系・教育学講座	『死と愛：実存分析入門』,1957年,みすず書房	ヴィクトール・E.フランクル著；霜山徳爾訳	V.E.フランクルといえば、『夜と霧』が夙に有名だが、風化しつつある大学院生時の記憶を辿ると、本書により感動を覚えた記憶がある。天災など人生には予測不能な不可避的な不条理が存在するが、そういう事態にあっても態度価値を以て受け入れることを教えてくれる書。自分も再度読み返してみたい。
9	教員	教員X		世界文学論	沼野充義	文学は政治であり、生活であり、人生であるということがトーマス・マンの『魔の山』に出てきたような気がします。「日本」でも「フランス」でも「ドイツ」でも「中国」でも「南米」でも「アフリカ」でもなく「世界」と銘打った文学論はどこから読んでもいつ読んでも知的刺激だけでなく、人生を肯定され世界の多様さと人間の奥深さを体感させられます。ここから読書の旅が始めると思います。

10	教員	教員X		書物のある風景：美術で迎える本と人との物語	デイヴィッド・トリッグ著；赤尾秀子訳	古今東西の絵画や芸術品とともに、「焚書よりも重たい罪がある。それは本を読まないということだ。」（ヨシフ・プロツキー）、「いかに多くの者が、本を読むことで、人生の新たな段階へ進めたことか。」（ヘンリー・ソーロー）など、本にまつわる箴言が紹介されている。たまには授業や研究を離れて、こういう無目的な幸せな読書の時間もどうぞ。
11	教員	大村龍太郎	教育学講座 学校教育教室	『正義の教室 善く生きるための哲学入門』ダイヤモンド社,2019年	飲茶	教師は、子どもたちに「正義感をもってほしい」と漠然と願っています。しかし、「そもそも正義とは何なのか」「万人がそれは正義だと思える考え方など存在するのか」などについて深く考えたことはあるでしょうか。本書はそのテーマについて、現代の高校生のちょっと極端な物語として描かれており、ひきこまれます。西洋哲学を身近に感じながら楽しく読めるとともに、読後も読者に考え続けることをせまってくる本です。
12	教員	大村龍太郎	教育学講座 学校教育教室	『哲学的な何か、あと科学とか』二見書房,2017年。	飲茶	あえて1冊目と同じ著者です。1冊目を読んだ後にこれがよいかもかもしれませんが、先にこれでも十分におもしろいと思います。教育学部生は「教える」ということについて学ぶことが多いと思いますが、自分が自明だと思っていることや、なんとなくあやふやにしていることが、実は考え出すととても奥が深いということを感じる「入り口」の書としておすすめします。
13	教員	前田稔	教育学講座	遊びスイッチ、オン！	スチュアート・ブラウン くりすとふぁー・うゝおーん著 足立理恵子ほか訳	医師・精神科医であるスチュアート・ブラウン博士が、科学的側面のみならず、様々な視点で遊びを分析し、我々がより良く生きるかを指南する。遊び方のタイプを、道化師、運動選手、探検家、闘争家、監督、収集家、芸術家・作家、語り手の9つに分けている部分が、性格占いのようで面白い。教育の側面にも深く踏み込んでおり、この本を読むと「学芸」という言葉自体が、遊びを意味しているような気さえしてくる。
14	教員	前田稔	教育学講座	複雑系	M・ミッチェル・ワールド ロップ著；田中三彦, 遠山峻征 訳	複雑な事象を複雑なままとらえる、そのような複雑系(Complexity)の科学が1990年代に世界中で流行した。創発性・自己組織化・カオスといったキーワードを読み解くことができる。インターネットの成り立ちやAIに興味のある学生、主体的・対話的な学習や、創発的な学級経営に関心がある学生のみならず、蝸壺のように専門化した学問領域の狭間で論文執筆に苦しむ大学院生の救いになるに違いない。
15	教員	渡津 光司	技術科教室	44の例題で学ぶ統計的検定と推定の解き方	上田拓治	この書籍は、統計的検定と推定についての初学者が手に取ってほしい一冊です。教育学部ですので、卒業研究等で統計的検定を行うことは少なくないでしょう。44個の例題を見ながら統計的検定を学ぶことができるので、どのような場面で、どのような統計的検定を使えばよいかが理解できます。用いられている数式も、そこまで難解ではないため、数式を見ながら、どういった処理を行っているかについても理解できます。
16	教員	渡津 光司	技術科教室	マンガで学ぼう！アクティブ・ラーニングの学級づくり：クラスが変わる学級力向上プロジェクト	磯部征尊, 伊藤大輔, 田中博之, 武田弦	この書籍は、学級経営に興味をもっている人が手に取ってほしい一冊です。学級力向上プロジェクトとは、子どもたちが学級づくりの主人公となって学級力を高めるために、学級力アンケートで自分たちの学級の様子を自己評価し、毎日の学習や遊びの中で実践的な仲間づくりを行っていく活動を指しています。進○ゼミのように、マンガを読みながら学ぶことができるので、初学者にとっても読みやすい一冊となっています。
17	教員	大澤千恵子	国語科教室	小説の森散策	ウンベルト・エーコ	

18	教員	大澤千恵子	国語科教室	プロテスタントの倫理と資本主義の《精神》	マックス・ウェーバー	
19	職員	宗田 友香	学術情報課（附属図書館）	ファンカルチャーのデザイン：彼女らはいかに学び、創り、「推す」のか	岡部大介著	この本の著者は、フィールドワーク研究を行う大学教授。今回のフィールドワークの対象は…ファンカルチャー！ 著者が人脈を尽くして、同人誌即売会、コスプレなど何かにのめりこむ人々と交流します。内容のユニークさはお堅い表紙からは想像ができません。皆さんと同年代の方々の「推し活」事情を知ることのできる本でもあります。
20	職員	宗田 友香	学術情報課（附属図書館）	君に友だちはいらない	瀧本哲史著	友だちと一緒に図書館の本棚を見ていて、この本を手取る人は少ないでしょう。表紙が隠れているからこそ、この本を手に取り、著者から若い皆さんへのメッセージを受け取ってほしいです。 本を読み終わったとき、タイトルの本当の意味がわかるはずです。
21	職員	高橋隆一郎	学術情報課（附属図書館）	いじめのある世界に生きる君たちへーいじめられっ子だった精神科医の贈る言葉	中井久夫著	いじめられた経験のある精神科医が、いじめの起こるメカニズム、どのようにいじめが進むか、それに対してどのように安全を確保したらよいかの提案がされている。学校でいじめのなくなる今、教育にかかわる多くの人が一度はお手に取るたよいのではないだろうか。
22	職員	高橋隆一郎	学術情報課（附属図書館）	『治療文化論：精神医学的再構築の試み』（岩波現代文庫）	中井久夫著	人文系の学問にも通じた精神科医が治療を文化の視点から描いたこの本に目を通し、あとがきにある「治療とは…そのひとだけの一品料理をつくらうとすることである」との言葉に接することにより、医療職に限らず教職、心理職、司書職など対人サービスに携わる人（及びそれらのことを今学ぼうとしている人）も前へ進むためのエネルギーを得られるであろう。
23	職員	高橋菜奈子	学術情報課（附属図書館）	Lean in (リーン・イン): 女性、仕事、リーダーへの意欲	シェリル・サンドバーグ著	全世界で23億人以上が利用するSNSフェイスブックの女性COOであるシェリル・サンドバーグが、女性が怖れずに自分らしいキャリアを歩むよう、応援メッセージを送る自伝的著作。誰もが(女性自身も)無意識のうちに持っているジェンダーバイアスに気づき、平等な社会で生き生きと働くことを考えるための1冊です。
24	職員	高橋菜奈子	学術情報課（附属図書館）	変わりゆく大学図書館	逸村裕, 竹内比呂也編	大学図書館が、デジタル環境の中でどんな役割を果たしているのか、変化していく方向性を示した古典的名著です。2005年に出版されましたが、今ではすっかり当たり前になっていることや、今でも課題であることがわかります。大学図書館を知っていただき、さらに変わりゆくにはどうしたらよいか提案してみてください。
25	職員	牛木 純江	大学史資料室	東京学芸大学150年の歩み 1873-2023年	国立大学法人 東京学芸大学編	東京学芸大学が国立大学として出発したのは1949年だが、その前身校である師範学校時代を含めると、実に150年の歴史がある。本書は、この150年間を連続的に捉えたものであり、東京学芸大学一校の歴史にとどまらず、同時に日本の教員養成の歴史についても理解を深めることができる一冊である。自分が通う大学のことを終ぞ知らぬままに卒業してしまうのはもったいない。本学で学ぶことの意義を考えるきっかけになればと考える。
26	職員	牛木 純江	大学史資料室	世界をまどわせた地図	エドワード・ブルック=ヒッチング著 関谷冬華訳	本書には、さまざまな時代の世界の古地図が掲載されているが、そこに描かれた島、国、都市の中には、現実には存在しないものもある。それらは意図的もしくは誤解や思い込みによって描かれ、人びとはそれに翻弄されてきた。机上で地球上のあらゆる場所の地図や航空写真が見られるようになった現在、想像の余地がなくなったことに一抹の寂しさを覚える。古地図の描かれた時代や文化的背景に思いを馳せながらお読みいただきたい。

27	職員	職員X		嘘つきアーニャの真っ赤な真実	米原万里	
28	職員	大森 美湖	保健管理センター	レイチェル・カーソンはこう考えた	多田満	「センス・オブ・ワンダー」や「沈黙の春」の著者レイチェル・カーソンは、1960年代に、当時あまり知られていなかった環境問題や文明社会への危機について、信念と勇気をもって指摘し、行動を起こしていました。著者は、日本人の若い人にも、人と調和しながらも自分の意見をはっきりと述べられる人間になって欲しい、と、この本を書いています。環境問題やコミュニケーションへの新しい観点を得られる本です。
29	職員	大森 美湖	保健管理センター	からだに、ありがとう 1億人のための健康学講座	伊藤裕 やくみつる	健康本はたくさん並んでいるけれど、本書は、ホルモンから脳・免疫・腸・体温のメンテナンスに至るまで、変わった視点での切り口と、ユーモアたっぷりの本です。自分の身体についての知識が増えるだけでなく、笑いまで身につけられるのでは、と気軽に読み進められると思います。
30	職員	児山洋平	国際課	監獄の誕生：監視と処罰	ミシェル・フーコー	本書では、パノプティコン（一望監視システム）というメタファーを用いて、自分で自分を監視し、社会にとって都合よく模範的であろうとする人間を作り出すという権力の機能が明らかにされている。「監獄」が近代社会そのものであるのならば、学校教育とは権力と学問が結びつき、規律がインストールされた被支配者を再生産するプログラム。教育に携わる人にはぜひ読んで欲しい。
31	職員	児山洋平	国際課	科学者と魔法使いの弟子 科学と非科学の境界	中尾麻伊香	東京学芸大学出身の学者による、錬金術からゴジラまで、科学や原子力をめぐる想像の歴史の考察。「十分に発達した科学技術は、魔法と見分けがつかない」というクラークの三法則の第三法則に言及しつつ、科学と非科学の境界がいかに曖昧であるのかを論じている。主観と客観、文系と理系など、従来の二元論にとられない視座を与えてくれる本。
32	職員	竹原 真、 丸山 浩平	情報基盤課	プロフェッショナル要件定義の教科書：曖昧な要件定義を成功に導く方法	桐谷恵介、今村信一、京極卓也、石坂博之著	情報システム構築の鍵である要件定義の複雑さを色々なポジションで描いた興味深い一冊。失敗事例や実体験が満載で、現場で即役立つ実践的なアプローチが光ります。業務経験者は「そうそう」「わかるわかる」と共感すること間違いなし。社会の様々な場面でICT活用やDX推進が図られるこのご時世においては、情報技術者だけではなく全ての業界に進む方々におすすめです。要件定義は苦行！！
33	職員	竹原 真、 丸山 浩平	情報基盤課	大規模言語モデル入門	山田育矢 監修 ／著、鈴木正敏、山田康輔、李凌寒 著	近年注目を集めているChatGPT、Bing Chat (Microsoft Copilot)、Google Bardなどの対話型の生成AI。あなたも利用してみて「すごい！」「言ったこと理解してくれてる！」ってきつと思ったのではないのでしょうか。この本では、どういう仕組みで生成AI（コンピュータ）があなたの入力した内容（言語）を理解し文章を生成するのか、これまでの技術の変遷とともに解説されています。教育現場での活用も模索されている生成AIの仕組みやその裏側に迫ってみましょう！
34	職員	金井愛美	キャリア支援課	二十億光年の孤独	谷川俊太郎	タイトルになっている「二十億光年の孤独」という詩に出会ったのは大学生の頃。孤独をこのように表現する言葉の使い方があるのかと思い、孤独の深さに思いを馳せながらもくしゃみで終わらせる素敵さに、田舎から都会の大学に進学し満喫していた自由で楽しい時間の隙間にふと感じるどうしようもない寂しさが、救われたように感じた。 自分ではどうしようもない隙間を埋めてくれる、隙間を素敵に捉えなおすことができるような表現に出会ってほしい。

35	学習サポート	稲田知陽	初等教育教員養成課程 国語選修 日本語教育コース	あしたの君へ	袖月裕子	
36	学習サポート	松岡菜緒	教育支援専攻 生涯学習コース 生涯学習サブコース	面白い本	成毛眞	
37	学習サポート	遠藤拓真	初等教育教員養成課程 情報教育選修	勉強するのは何のため?: 僕らの「答え」のつくり方	吉野一徳	教育学部みんなが一度は考える「勉強する理由」への自分なりの答えを見つけることができる本です!
38	学習サポート	遠藤拓真	初等教育教員養成課程 情報教育選修	車輪の下		「そうか、そうか、つまりきみはそんなやつなんだな。」でお馴染みのヘルマン・ヘッセの作品です! 優秀な主人公が街を出て名門校に入り、悪友と会って落ちこぼれていく過程を複雑な気持ちで読むことができます!
39	学習サポート	小平温太	教育支援専攻 生涯学習コース 生涯学習サブコース	知的複眼思考法: 誰でも持っている創造力のスイッチ	苅谷剛彦	自分自身の視点から物事を多角的に捉えて考え抜くこと。それが知的複眼思考法です。全国3万人の大学生が選んだ日本のベストティーチャーの思考法がとても参考になります。
40	学習サポート	小平温太	教育支援専攻 生涯学習コース 生涯学習サブコース	告白	町田康	人はなぜ人を殺すのかー永遠の命題に答える作品。こう書くとおどろおどろしい物語と捉えられそうですが、そうではありません。読んで確かめてください。
41	学習サポート	楯慎之介	A類ものづくり技術選修	ノルウェイの森	村上春樹	今、目の前にいるすべての人が愛おしくなります。大学生の間にぜひ読んでいただきたい一冊です。限りない喪失と再生を描く究極の恋愛小説!
42	学習サポート	楯慎之介	A類ものづくり技術選修	J-POPで創る中学道徳授業	柴田克	音楽好きのみなさんの刺激に少しでもなればと思います。
43	学習サポート	加藤みる	教育支援専攻 生涯学習コース 生涯学習サブコース	華氏451度	レイ・ブラッドベリ	華氏451度。何の温度かご存じですか。本作は1950年代に書かれたディストピア小説ですが、現代に通ずる恐ろしさがあります。ぜひ手にとって、物語を最後まで見届けてください。
44	学習サポート	加藤みる	教育支援専攻 生涯学習コース 生涯学習サブコース	短歌ください	穂村弘	短歌ブーム到来と耳にすることが近年増えました。短歌が身近になり、自分も詠んでみようという人が増えています。本作は、一般の人が詠んだ短歌を歌人穂村弘が一言添えたもの。色々な人の、色々なお題の短歌を、一度に沢山読めて、満足感大の一作です。
45	学習サポート	田村杏佳	教育支援専攻生涯学習・文化遺産教育コース	裸足で逃げる: 沖縄の夜の街の少女たち	上間陽子	初めて読んだときに、現実を知り衝撃を受けたことを覚えています。彼女たちを「知ること」が、第一歩だと思う本です。
46	学習サポート	田村杏佳	教育支援専攻生涯学習・文化遺産教育コース	あなたを変える行動経済学: よりよい意思決定・行動をめざして	大竹文雄	行動経済学は心理学と経済学を掛け合わせた学問です。自分の行動について客観的に捉えることができ、日常生活にも役立ちます。
47	学習サポート	水谷真優	教育支援専攻 多文化共生教育コース	なくなりそうな世界の言葉	吉岡乾	世界からなくなりそうな「小さな」言葉に出会える一冊。可愛いイラストと共に「小さな」言葉に思いを馳せてみては。
48	学習サポート	池田光流	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 情報コース	ぼくは勉強ができない	山田詠美	「勉強」することの価値観について考えさせられる本です。主人公は高校生で、勉強はできないけど女の子にはモテる。そういった主人公が、新しい勉強の価値観を持たされるのですが、それは本当に正しいものなのかを考えていきます。
49	学習サポート	池田光流	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 情報コース	ざんねんないきもの事典: おもしろい! 進化のふしぎ	今泉忠明	いろいろな生物の生態についてみる本です。生物が苦手だったという方も読みやすい本になっています。

50	学生	坂本志奈	教育支援専攻生涯学習・文化遺産教育コース	破戒	島崎藤村	一度は聞いたことがある本。差別と偏見、時代を経ても変わらない問題を間近に感じることができます。
51	学生	篠永まひろ	教育支援専攻生涯学習・文化遺産教育コース	なつみはなんにでもなれる	ヨシタケシンスケ	未来の希望が持てる本。
52	学生	八木明香莉	教育支援専攻生涯学習・文化遺産教育コース	いろいろな人に聞いてみた「なんで勉強しなきゃいけないの？」	WILLこども知育研究所編著；秋山仁【ほか述】	読めば視野が広がる。世界は可能性に満ちている！
53	学生	福澤海里	教育支援専攻生涯学習・文化遺産教育コース	天文学；きらめく世界！	ダン・グリーン文；サイモン・バシャー絵；原田佐和子訳	かわいい絵柄で読みやすい！いろんなシリーズがあるので見てほしいです。
54	学生	福澤海里	教育支援専攻生涯学習・文化遺産教育コース	はてしない物語	ミヒャエル・エンデ	